

竹内滋泰(市政クラブ)

国道23号蒲郡バイパス  
について

**問** 幸田芦谷ICから蒲郡IC間(西部区間)の現状、進捗状況等は。

**答** 国からは、23年度事業費は43億円で、大半が西部区間であり、今後も24年度の開通を目標に事業の推進、事業費の確保に努めてまいりたいと聞いている。

**問** 蒲郡ICから東三河IC間(東部区間)の現状は。

**答** 22年度は必要な箇所に用地幅杭を設置し、今年度は用地測量、物件調査を実施予定と聞いている。

**問** 蒲郡IC供用開始時の車の流れ、交通量は。

**答** 大型車両の市街地への通過を最小限にとどめるため、開通時に音羽蒲郡有料道路が無料化となるよう県と調整を行っている。

**問** 豊岡大塚線事業促進に向けての市の考えは。

**答** 市としては、これを県路線として県施工に向

けるのが最善策と考える。

広中昇平(市政クラブ)

消防団員の家族への  
優遇措置について

**問** 団員の消防団活動に家族の協力や支援は不可欠である。ラグーナのパスポート等を団員と家族に無料で配布することは可能か。

**答** 予算措置が必要で、全員となると予算も高額となり難しいが、団員家族に喜んでほしい、消防団の長期的な発展につながるようなアイデアがないか団員の意見を聞きながら継続的に検討していきたい。

防災倉庫にある  
消耗品の管理は

**問** 防災倉庫は市内53カ所があり、使用推奨期限のある乾電池等を市で管理するのは大変である。消耗品の管理に地元との連携が必要と考えるがどうか。

**答** 消耗品の管理については市だけではできかねるので、今後、地元と協議

防災倉庫



して、その協力を得ながら適切な管理をしていきたい。

新実祥悟(市民の会)

財政健全化改革  
チャレンジ計画の策定は

**問** 今までに計画改定の予定があったと思うが、世界的な景気停滞による市税収入の落ち込みや突発的な震災不況などに対応するため、改定チャレンジ計画の策定が必要である。いつまでに計画を策定するのか。

**答** 23年3月には改定チャレンジ計画を策定する

予定であったが、特に国の動きが不透明で計画策定が難しかった。これ以上遅れてはいけないので、現在、実務作業に入っている。秋ごろの公表を目標に作業を進めていきたい。

三河塩津駅周辺整備等  
について

**問** 三河塩津駅周辺整備事業と市道竹谷前浜油井1号線の完成時期は。

**答** 三河塩津駅周辺整備事業は24年度末、市道竹谷前浜油井1号線は25年度末の完成を目指している。

稲吉郭哲(市政クラブ)

東海地震に出される  
警戒宣言の周知を

**問** 市民に警戒宣言の発表をどのような方法で周知徹底するのか。

**答** 全国瞬時警報システムを使って市内106カ所にある同報無線から警戒宣言が発表された旨の放送が流れ、防災行政ラジオからも聞くことができる。そ

同報無線



の他携帯メールでの発信や広報車両も走らせて広く周知を図るようにしている。

国道247号中央  
バイパスの全線開通を

**問** 中央バイパスは、特に形原町、西浦町に住む市民にとって市民病院につながる命の道とも言える。全線開通の見通しは。

**答** 厳しい予算の中、市としても市街地における振動・騒音、慢性的な渋滞などを解消するため、早期の全線開通を目指し、今後とも継続して県に協力と要望を行っていきたい。